

教科名【音楽】

学習目標（「身に付けたい力」）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景との関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことかでできるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

学年	第7学年	第8学年	第9学年
時数	年間 45 時間	年間 35 時間	年間 35 時間
1 学期	【歌唱】 ○無理のない自然な声の出し方で歌おう 「校歌」「夢の世界を」 【歌唱】 ○歌詞の内容と曲想にふさわしい表現を理解しよう 「夢の翼」「夏の思い出」 【鑑賞】 ○情景と音楽表現との関わりを捉えて鑑賞しよう 『四季』より「春」（ヴィヴァルディ） 【器楽】 ○アルトリコーダーの基礎的な奏法を身に付け、音色や奏法を工夫して演奏しよう 「喜びの歌」「かっこう」 【歌唱】 ○声部の役割を感じ取って合唱しよう 合唱コンクールに向けて課題曲「夢は大空を駆ける」、	【歌唱】 ○楽曲の構成を理解し、歌詞の内容と曲想にふさわしい表現を工夫しよう 「早春賦」「夏の日の贈りもの」 【鑑賞】 ○楽器の仕組みや楽曲の構成を理解し、豊かな響きを鑑賞しよう 「小フーガ短調」（J. S. バッハ） 【歌唱】 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫して歌おう 合唱コンクールに向けて課題曲「時の旅人」	【歌唱】 ○歌詞の内容や曲想を味わって歌い、独唱の魅力を感じ取ろう 「花」「帰れソレントへ」（クルティス） 【鑑賞】 ○日本の伝統文化について学び、時代背景とともに理解し、良さを感じ取ろう。 能「羽衣」 【歌唱】 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫して歌おう 合唱コンクールに向けて課題曲「あなたへ」
2 学期	【歌唱】 ○声部の役割を感じ取って合唱しよう 合唱コンクールに向けて各クラス自由曲 【鑑賞】 ○物語の進行と曲想の変化との関わりを感じ取って鑑賞しよう 歌曲「魔王」（シューベルト） 【器楽】 ○アルトリコーダーアンサンブルの美しい響きを楽しもう 「ラバースコンチェルト」	【歌唱】 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫して歌おう 合唱コンクールに向けて各クラス自由曲 【鑑賞】 ○オーケストラの特徴を捉え、豊かな表現を味わって鑑賞しよう 「交響曲第5番」（ベートーベン） 【器楽・創作】 ○リズムアンサンブルを通して、リズムの面白さを理解し自作のリズムを演奏しよう。	【鑑賞】重厚な合唱の響きを味わうとともに時代背景と音楽家の役割を学ぶ「レクイエム」（モーツァルト） 【歌唱】 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫して歌おう 合唱コンクールに向けて各クラス自由曲 【器楽】 ○言葉とリズムの特徴をとらえて、リズムアンサンブル曲を楽しもう 「打楽器のための小品」（黒沢吉徳） 【鑑賞】曲想と曲全体の構成を理解し聴き取ろう「ボレロ」（ラベル）

3 学 期	【器楽】 ○箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏しよう 箏実技「さくらさくら」(日本古謡) 【鑑賞】箏の奏法や楽曲の特徴を理解し、響きを味わおう 「六段の調べ」 【鑑賞】 ○日本とアジアの声によるさまざまな表現を鑑賞しよう 「天台声明」「八木節」「江差追分」「ケチャ」「ホーミー」「布農(ブヌン)族の合唱 【創作】日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう 【歌唱】 ○歌詞や曲想、声部の役割を生かして合唱しよう 三送会、卒業式に向けての合唱	【器楽】 ○箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏しよう 箏実技「さくらさくら」(日本古謡) 【鑑賞】 ○歌舞伎の音楽の特徴や役割を理解し鑑賞しよう 歌舞伎「勧進帳」 【歌唱】 ○歌詞や曲想、声部の役割を生かして合唱しよう 三送会、卒業式に向けての合唱曲	【器楽】 ○箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏しよう 箏実技「さくらさくら」(日本古謡) 【鑑賞】絵画と音楽のつながりを感じながら音楽を味わう「展覧会の絵」(ムソルグスキー) 【歌唱】 ○声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら歌おう 三送会、卒業式に向けての合唱

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主 な 評 価 内 容 と 方 法 (全 学 年 共 通)	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	・ワークシート ・提出物の内容 ・実技テスト ・定期考査 など	・ワークシート ・提出物の内容 ・実技テスト ・定期考査 など	・授業への取り組み様子 ・ワークシート ・提出物の内容 ・定期考査 など